

ピックアップシステム・取付ガイド

はじめに

このピックアップはプロによる取り付けをお勧めします。この説明書をよくお読みください。プロでない方が自分で取り付ける場合、取付に関するアドバイスやサポートは行っておりませんのでご了承ください。このピックアップが動作しないギターもありますのでご注意ください。例えば、物理的スペースの不足、以前のピックアップ取り付けによるブリッジプレートの改造、一部のビンテージギターのブリッジプレートの変形などは、取付けが成功しない可能性があります。

取付を成功させるための条件:

- 各ピックアップの接着面全体がブリッジプレートに接触している必要があります。これが適切なパフォーマンスの成否を左右する必須な事柄です。ピックアップを取り付ける表面にてごぼこや、穴、その他の障害物がないことが重要です。
- 以前に接着されたピックアップを取り外す場合、ブリッジプレートが損傷したり平面度が変わったりする可能性があります。ピックアップが十分に接触することが難しくなります。この問題が発生しているギターにHiFiを取り付ける場合は、取り付ける前に接着剤や変形による損傷を修復する必要があるため、取付け完了までかなりの時間がかかるかもしれません。
- 取付には付属の両面テープのみを使用してください。箱の中には予備のテープが入っています。
- 絶対にピックアップを接着剤で固定しないでください。これによりピックアップとブリッジプレートとの互換性がなくなり、保証の対象外になります。
- まずブリッジプレートを調べます。ブリッジプレート上のブリッジピン/弦のボールエンドの前に、奥行きが最低限19ミリの汚れない平らなスペースが必要です。
- 一部のギターには、狭いXプレイングパターンが付いています(ヴィンテージギターによくあります)。このような場合、このピックアップを適切に取り付けるための十分なスペースがありません。(図1参照)
- ブリッジプレートによっては、ブリッジピンの前にピックアップ全体を収納するのに十分なスペースがありません。各ピックアップの接着面全体をブリッジプレートに接着する必要があることに注意してください。このタイプのギターにはHiFiは取り付けられません。

設置の手順

特別な取付けツールが箱に同梱されています。設置を開始する前に組み立ててください。ピックアップをブリッジプレートの理想的な位置に完全に取付けるためには、このツールの使用が非常に重要です。

- ブリッジプレートから、すべての障害物(破片、接着剤、接着剤の残留物、ワックスなど)を取り除きます。さらに消毒用アルコールを少量含ませた布またはペーパータオルを使用して表面を拭き、乾燥させます。
- 取り付けツールをブリッジ(ギターの外側)の上に置き、ポストの短い端が外側のブリッジのピン穴に収まるように調整します。治具をピン穴にセットします。これにより、ピックアップを目的の場所に配置するための視覚的な参照が得られます。(図2参照)
- 小さな両面テープ(付属)を各ピックアップの上部、「LR Baggs」ロゴの真上に貼ります。(図3aおよび3bを参照)
- 両面テープから裏紙を剥がし、図4に示すように取り付けツールにピックアップを配置します。ピックアップをサドルの中心に配置し、1つは低いE弦とA弦の間に、もう1つはB弦と高いE弦の間に配置します。弦のボールエンドを避けるために十分なスペースを確保し、配線部分がブリッジピンに接触しないようにピックアップを配置します。(図4参照)

図 1



この図の場合ピックアップを取り付けるための十分なスペースがありません。センサーをわずかに移動して調節できる場合もありますが、弦のエネルギーと音量が失われる可能性があります。

図 2

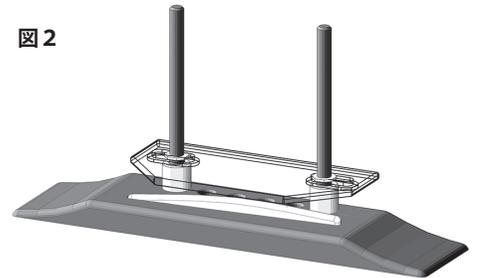


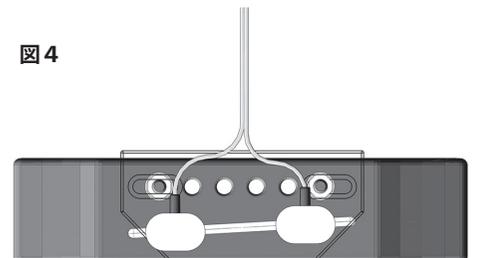
図 3 a



図 3 b



図 4



5. 各ピックアップの接触面から裏面の保護シールを剥がします。

6. ピックアップの付いたツールをサウンドホールを通してギターの中に入れます。2本のポストをブリッジの両端のピン穴に差し込み、ブリッジの上部に突き出るまで押し込みます。ギターの外側からポストの1つをつかみませんが、まだ引き上げないでください。片方のポストを持ったまま、ギターの内側にある取付ツールから手を放し、ギターの外側にあるもう一方のポストを掴みます。

7. ピックアップがブリッジプレートに接触するまで、ポストを真つすぐに引き上げます(図5aおよび5bを参照)。ピックアップがブリッジプレートに接触し接着された感触があったら、ギターの内部に手を入れ、各ピックアップをブリッジプレートに押し付けて確実に固定します。

8. ツールをピックアップから1つずつ取り外し、ギターからツールを取り外します。各ポストを片方ずつ押し下げると、両面テープがピックアップから外れやすくなります。両面テープの破片がピックアップに残っている場合は、取り除いてください。

9. それぞれのピックアップを約10～15秒間しっかりと押しつけて固定し、同時にもう一方の手でギターの外側から同じ圧力を加えます。

10. 鏡とライトを使用して配置を確認し、ピックアップがブリッジピンや弦のボールエンドに接触していないことを確認します。どちらかに接触している様であれば、剥がして再度貼り付ける必要があります。(図6参照)

11. ジャック/プリアンプをテールブロックに取り付けます。ストラップジャック取付ガイドを参照にして取り付けて下さい。

12. 付属のクリップで、緩んだピックアップの配線を固定します。ギターのサイズと緩んだ配線の量に応じて、1つまたは2つのクリップを使用します。信号に不要なノイズを発生させる共振振動から保護するには、配線をクリップ内でしっかりと保持することが重要です。そのため、クリップ内で配線を固定する方法については、図7aと図7bに示す方法に従ってください。

13. コントロール部をサウンドホールの上部に取り付け、バッテリーバッグをネックブロックに固定します。最後に、バッテリーとコントロール部の配線を、2つのクリップを使用して、ギターの側面に沿って固定します。

14. バッテリーを入れたら完成です。アンプ等に接続して音を鳴らします。

その他

パッシブAUXチャンネル

このHiFiプリアンプは、ステレオサウンド用の2番目のパッシブピックアップを追加する事ができます。追加するには、マグネティックピックアップが最適です。高インピーダンスタイプのピックアップは出力が低いため、お勧めしません。

2番目のピックアップのはんだ付け

パッシブAUX入力用ピックアップからのホット線をプラスに、グランド線をマイナスにはんだ付けします。下の図を参照してください。

アンプとの接続には、信号をステレオケーブルでステレオ入力するか、ステレオ「Y」ケーブルを使用して2つの別々のモノラル入力に接続する必要があります。2番目のピックアップの信号はステレオプラグの「リング」接点にあります。

ミニマイクの追加

2番目のピックアップを接続するのと同じ方法でミニマイクを追加することができます。ただし、これはパッシブチャンネルであるため、マイクにファンタム電源を供給する必要があることに注意してください。マイクはステレオプラグの「リング」接点に接続されます。



図 5 a ピックアップがブリッジプレートに接触するまで、各ポストを均等に上方に引っ張ります。

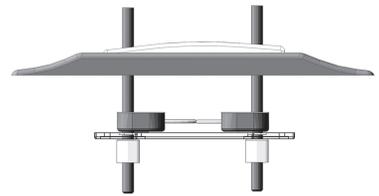
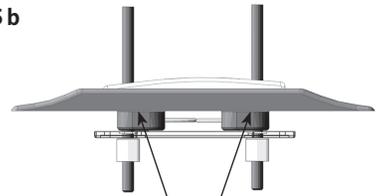


図 5 b



両方のピックアップをブリッジプレートにしっかりと接触させます。

図 6



正しく配置した状態

図 7 a



正しい固定

この方法により、配線が楽器の表面から離れ、配線をしっかりと保持して不要な振動を防ぎます。

図 7 b



正しくない固定

この方法は一般的ですが、効果的ではありません。ワイヤーが振動し、信号に不要なノイズが発生する可能性があります。

プリアンプジャック・取付ガイド

ストラップジャック/プリアンプの取り付け

ギターのテールブロックにすでに0.5インチ(12.7mm)の穴がある場合は、取り付けの項目に進みます。

ストラップジャックの穴を開ける:

このジャックを使用するには、楽器のテールブロックにきれいな0.5インチ(12.7mm)の穴が必要です。この穴を正確かつ効果的に開ける最も簡単な方法は、ホームセンターで入手できる0.5インチ(12.7mm)の「ステップ」ドリルビットを使用することです。他のオプションは、フォーコーナービットまたはブラッドポイントビットを使用することです。

注意: この作業にはスピードビットや標準のドリルビットを使用しないでください。

まず、穴を開ける領域(通常はテールブロックの中央)にマスキングテープを貼ります。これはギターの表面を保護するためです。直径約3/16インチの下穴をドリルで開けます。あとはステップドリルを使って仕上げていきます。ステップドリルの先端をパイロット穴に置き、ドリルの斜面をできるだけ穴の側面に並行になるようにし、テールブロックを完全に貫通するまで穴あけを続けます。

ストラップジャックの取り付け:

ストラップリング、固定ナット、およびワッシャー1つをジャックの端から取り外します。ジャックのネジ溝があるバレル部分には、平ワッシャーが1つ、星型ロックワッシャーが1つ、ナットが1つ残ります。

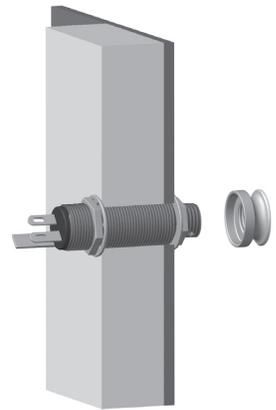
このナットとワッシャーを回し、バレルの深さが適切になるよう調整します。ジャックの小さい方のネジ部分の約90%がギターの外側のテールブロックを超えて外に出るようにすると良いでしょう。ジャックをサウンドホールからギターに入れ、テールブロックに開けられた穴に差し込んで調整を確認します。細い方のネジ溝が数本分ボディに入るぐらいが適切です。

ジャックを所定の位置に配置したら、ワッシャーをはめ、固定用ナットをしっかりと固定されるまで取り付けます。最後にストラップリングを取り付けて完成です。

完了すると、ジャックの小さなネジ部分がストラップリングの端とほぼ同一平面になるはずですが、ネジ部分が奥に入りすぎると、プラグを接続した時にジャックと電氣的に接触しなくなりません。したがって、適切になるまで必ず調整してください。

さらに詳しい取付方法については、L.R.Baggs公式ページのHiFi製品ページにあるビデオや各種マニュアルをご覧ください。

<https://lrbaggsjapan.com/product/hifi/>



【誤】
ジャック部が奥過ぎる

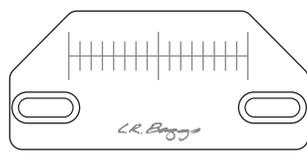


【正】
ストラップリングとジャック部の先端がほぼ均一

取付けに関して

HiFi ピックアップ取付キット

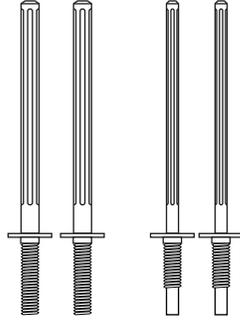
HiFiを正確に取り付ける為のキットが付属しています。下図を参考に組み立て下さい。



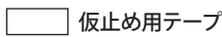
ガイドボード



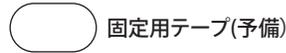
固定ナット



ガイドポスト
2種類あります。グレイ(太) クリーム(細)

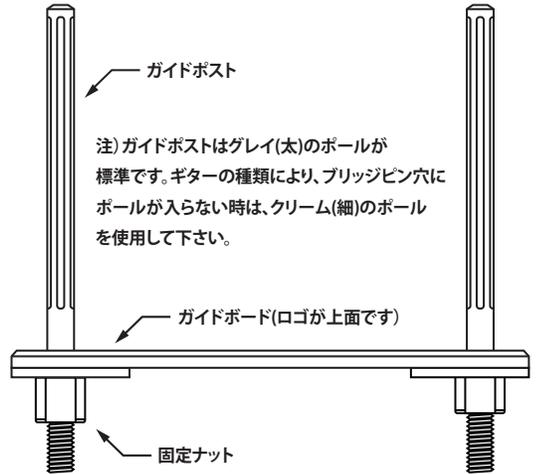


仮止め用テープ



固定用テープ(予備)

注) テープ類は予備を含め数枚入っています。



ガイドポスト

注) ガイドポストはグレイ(太)のボールが標準です。ギターの種類により、ブリッジピン穴にボールが入らない時は、クリーム(細)のボールを使用して下さい。

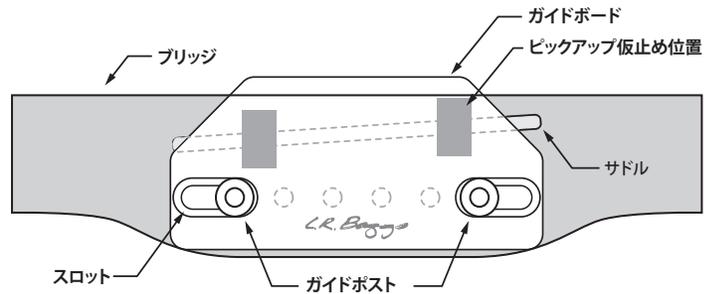
ガイドボード(ロゴが上面です)

固定ナット

取付キットの使い方

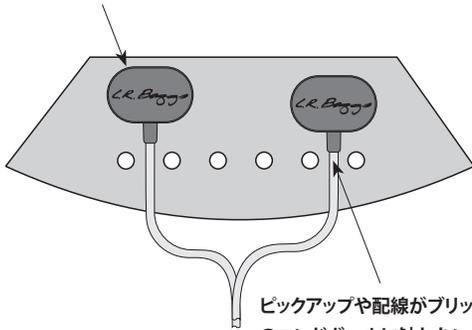
取付キットを組み立てた後、ブリッジの上ののせて、2つのポストが、6弦と1弦の穴に入るよう左右のボールを調整します。この時穴に入れるのはポストの下側(ネジ側)です。

ピックアップを仮止めする位置は右図の四角の場所です。仮止め用テープを使用する前に一度位置を確認して下さい。



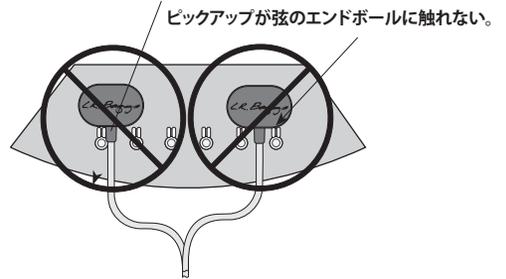
【重要】正しい取付位置

ピックアップの接着面が完全にブリッジプレートに乗るようにして下さい。



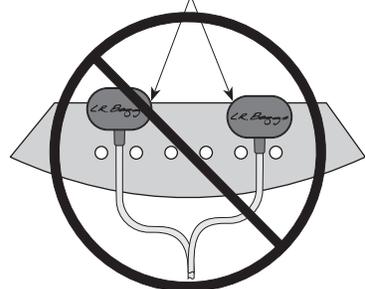
ピックアップや配線がブリッジピンや弦のエンドボールに触れないよう注意

ピックアップや線を、ブリッジピンに当てない。



ピックアップが弦のエンドボールに触れない。

ピックアップがブリッジプレートからハミ出ない。



貼り付けには、付属の両面テープのみお使い下さい。他の接着剤は使わないで下さい。接着剤を使うと、うまく機能しません。また保証の対象外となるのでご注意ください。